平成２９年　９月２９日

学校だより

さいたま市立植竹小学校
〒331-0813 さいたま市北区植竹町２－１
TEL０４８－６６３－７６２７
FAX０４８－６６３－９８８５
E-mail　uetake-e@saitama-city.ed.jp

１０月号

児童数　1年１２４名・2年１３８名・3年１２１名・4年１３４名・5年１２４名・6年１３７名・7組１７名　　計７９５名

学校教育目標　　〇すすんでまなぶ子　　〇たすけあう子　　〇げんきな子

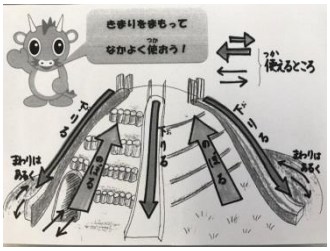
学校のシンボル植竹山

校　長　　鯨井　幹夫

朝夕めっきり涼しくなり、日中も過ごしやすくなりました。近隣校で一時流行したインフルエンザも本校までは影響せず、子どもたちは勉強や運動に一生懸命取り組んでいます。9 月は 1 年、2 年、4 年と 7 組が校外学習を行いました。どの学年も集団行動やマナーがしっかりとできており、着実に成長していることを実感しました。駅伝練習も始まりました。朝練習と放課後練習に多くの子が参加しています。5・6 年生の希望者ですが、朝練習でも毎日 50 名を超える子どもたちが、真剣な表情で走りこんでいます。自分のめあてをしっかりもって継続することが大事です。毎日応援しています。また、10 月には 5 年生の舘岩自然の教室、6 年の修学旅行と宿泊体験学習が続きます。子どもたちも楽しみしている行事です。思い出に残る体験や見学となるようにしたいと思います。

植竹山で遊ぶ子どもたち

さて、この 10 月から「植竹山」が使えるようになります。平成 27 年の 6 月から芝川第 8 処理分区下水道工事のため使用禁止になっていましたが、工事もほぼ終わったため 10 月から再開することにしました。夏休み中、「おやじの会」と職員作業で整備や塗装を行い、9 月からは各クラスでオリエンテーションを行い遊び方や約束を確認しました。楽しく安全に遊ぶために生徒指導部では「植竹山のきまり」（右図は一部）を作り、準備しています。



この「植竹山」は、昔から植竹小学校のシンボルです。創立 30 周年記念誌によると、昭和 49 年 5 月 3 日「植竹山すべり台、吊り橋ができ上がり、体力増強、教材園としての植竹山が完成する」とあります。実は開校当時から、現在の場所に子どもたちが土を運んで「築山」を作っていましたが、本格的に現在の姿に完成したのは 43 年前です。創立 50 周年記念誌には完成当時からを振り返る次の記事がありました。「現在の植竹山は、その後何年にもわたり、何百人もの人達の力が投じられて、今の姿になったわけである。思えば、土くれ一つ、樹木一本一本に、それ等を運び、又植えた人達の思いが残っているであろう。そしてより重要なのは、植竹山で過ごした、何百、何千人の子ども達に残された様々な経験や友人との出会い、思い出であろう。」この言葉が植竹山の価値を象徴しているのではないでしょうか。植竹山は地域や PTA に支えられ、学校のシンボルとしてこれからも子どもたちを見守り、よい思い出づくりの場所となることでしょう。これまで学校評価でも「植竹山ではやく遊べるようにしてほしい」という保護者の声がたくさんありましたが、2 年間の中断を経て、いよいよ再開することができます。みんなで仲良く楽しく遊べるようにしていきましょう。

◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆

過日、「人権標語づくり」に全校で取り組みました。右は各学年の学校代表になった作品です。一人一人が人権について自分で考えて、言葉に表した作品です。心が言葉を生み出し、言葉がその心を伝えてくれています。次は、その心を積極的な行動として表してくれることでしょう。

「人権標語」　各学年の学校代表作品

1年　どうしたの　ともだちだから　はなしてよ
2年　ともだちと　なかよくしよう　またあした
3年　うれしいな　あかるいえがお　わらいごえ
4年　助け合う　その心がね　きぼうだよ
5年　「ありがとう」心の傷の　ばんそうこう
6年　苦手な人　好きな窓から　見てみよう

また、9 月 26 日の全校児童朝会では、「いじめ防止」について児童会長等から話がありました。「いじめ防止シンポジウム」と「子ども会議」の報告に加え、これまで続けてきている「友だちキャンペーン」「児童会だより」「あいさつ運動」に工夫を加え、より一層充実させていくという決意が述べられました。いじめや人権について子どもたちが中心となって考え行動する。そのことによって、いじめ防止や思いやりのある学校がきっと実現していくはずです。